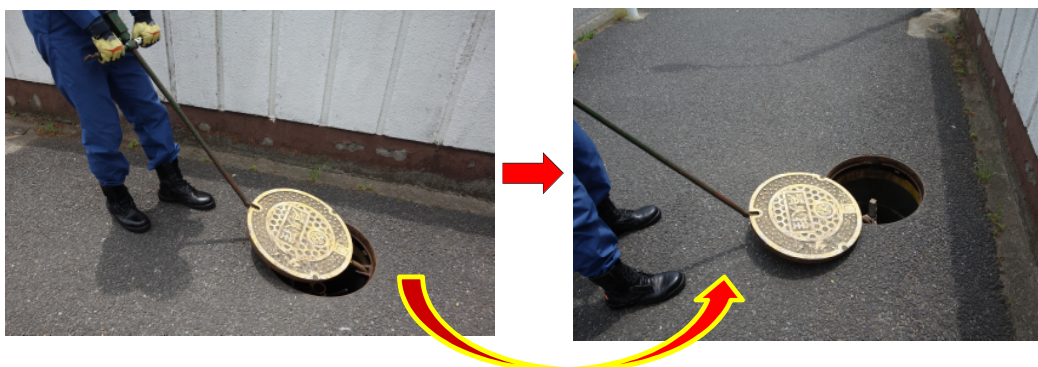


消火栓を使用した初期消火器具の操作マニュアル

- 1 ・消火栓鍵を差し込み、てこの原理で蓋を持ち上げます。



- 2 ・消火栓の蓋を一度手前に引き、横にスライドさせます。
・蓋は非常に重いため足や手を挟まないように注意して下さい。



- 3 ・吐水口にスタンドパイプを結合します。
(夜間は見え難いので懐中電灯などで照らして下さい。)



- 4
- ・結合したら、上へ引っ張り確実に結合されているか確認して下さい。
 - ・結合が不十分だと放水中に外れ、大変危険です。



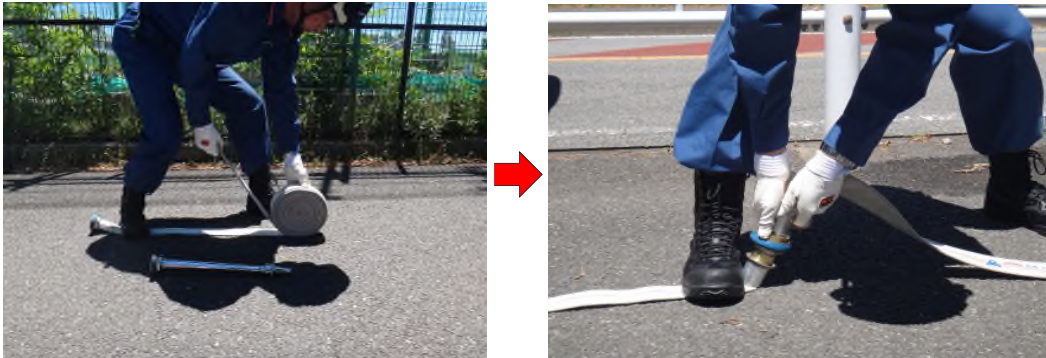
- 5
- ・開閉金具を差し込み、時計回り(右回り)にゆっくり回して、少し水が出るのを確認して下さい。
 - ・水が出るのを確認したら、反時計回り(左回り)に回して水を止めます。(最初に錆水が出る事が有ります錆水が出なくなった後に水を止めます。)



- 6
- ・1本目のホースを火点方向に延長します。そのとき延長方向に障害物が無いか確認して下さい。
 - ・ホースを延長したら、スタンドパイプ本体に「カチッ」と音がするまで差し込みます、確実に結合されているか一度引っ張って確認して下さい。



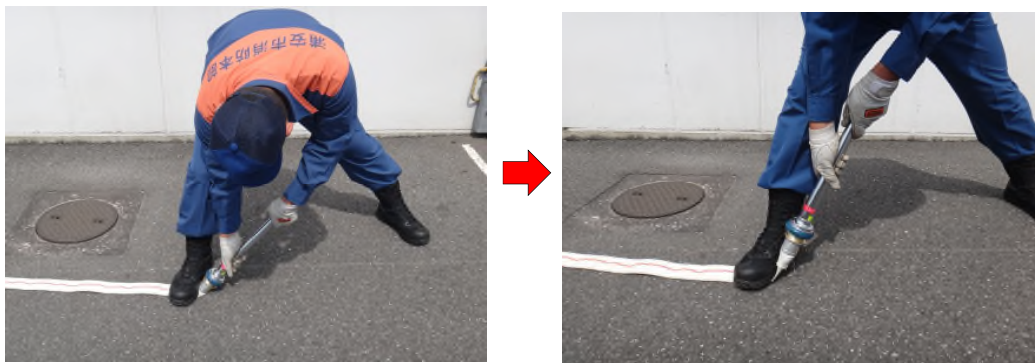
- 7
- ・1本目のホースが伸びきった先端部付近から2本目のホースを延長します。
 - ・2本目のホースを延長後に1本目のホースと結合します。



- 8
- ・結合したら、一度引っ張り確実に結合できていることを確認して下さい。



- 9
- ・2本目のホース先端に管そうを結合したら、一度引っ張り確実に結合できていることを確認して下さい。



- 10
- ・ホースが伸びて体制が整った後に、「放水はじめ」と大きな声と、腕を上にあげ確実に伝えます。
 - ・相手が見えない場合は、ほかの人に(伝達員)伝えてもらいます。



- 11
- ・「放水はじめ」の合図が確認できたら、開閉金具をゆっくりと時計回り(右回り)に回します。
 - ・一気に回し水を放水すると水の勢い(反動力)で怪我をする恐れがありますので、開閉金具はゆっくりと回します。
- ※担当者は最後まで、その場から離れてはいけません。



- 12
- ・水が来たら、管その先端を開放し放水を開始します。前傾姿勢をとると姿勢が安定します。補助員がいる場合は、後方から支援します。



- 13 ・放水を終了するには、管そう先端を閉鎖し、「放水やめ」と大きな声と、腕を横に伸ばし確実に伝えます。



- 14 ・「放水やめ」の合図が確認できたら、開閉金具を反時計回り(左回り)に回し、確実に閉めて下さい。



- 15 ・水が完全に止まっている事を確認し、ホースを離脱及び、スタンドパイプのレバーを両手で握って、消火栓からスタンドパイプを取り外します。
※スタンドパイプを外した後、水が完全に止まっているか再度確認して下さい。



- 16・開けた時と逆の手順で確実に蓋を閉めます。

